

# 東京湾海況情報 25-5

東京湾水質調査結果（平成25年8月）  
（平成25年8月19日発行）

千葉県水産総合研究センター  
東京湾漁業研究所  
〒293-0042 富津市小久保3091  
TEL 0439-65-3071  
E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp  
千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 8/5：内湾(わかふさ)、内房海域(ふさみ丸)  
関東・東海海況速報(8/5)、東京湾口海況図(8/5)  
モニタリングポスト(8/5：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁)  
神奈川県水産技術センター(8/7)、東京都環境局(8/6-7)

## 【 水温・塩分の状況 】

湾内の表層水温(図1)は26～28℃台で、内房海域では平年よりやや高め傾向になっています。塩分は内湾が25～31PSU台、内房海域は32～33PSU台で、東京灯標から浦安・船橋及び千葉にかけての沿岸では依然低塩分状態が続いています。

縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図3)では、内湾中央部(st. 3～J 5)の水深10～15m付近でやや弱い水温、塩分の成層状態がみられています。

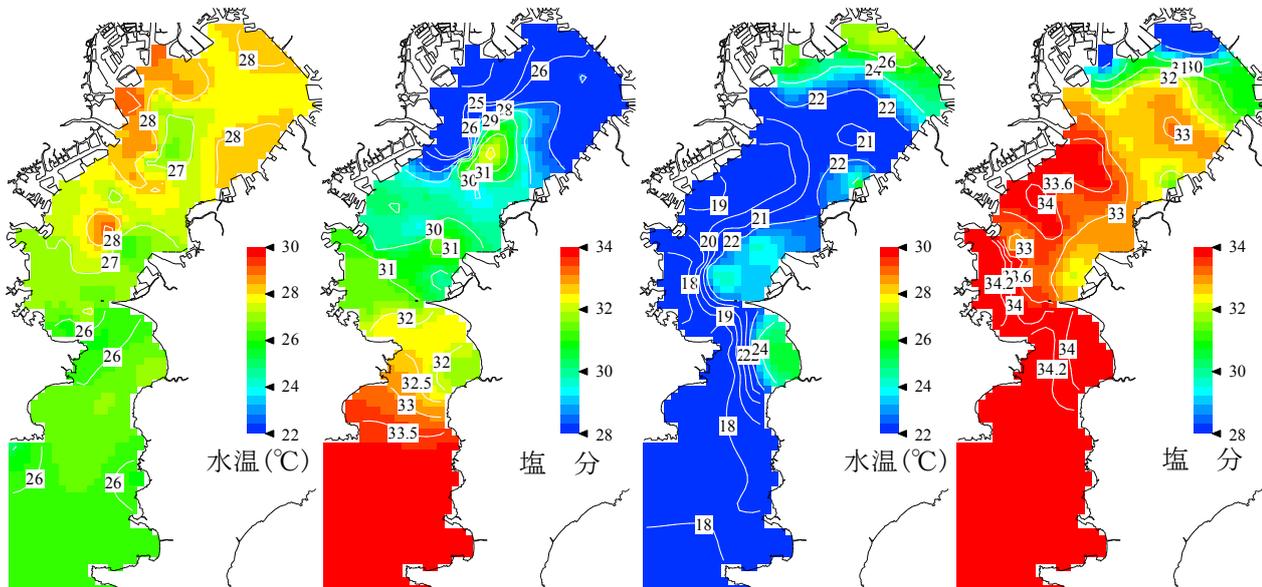


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

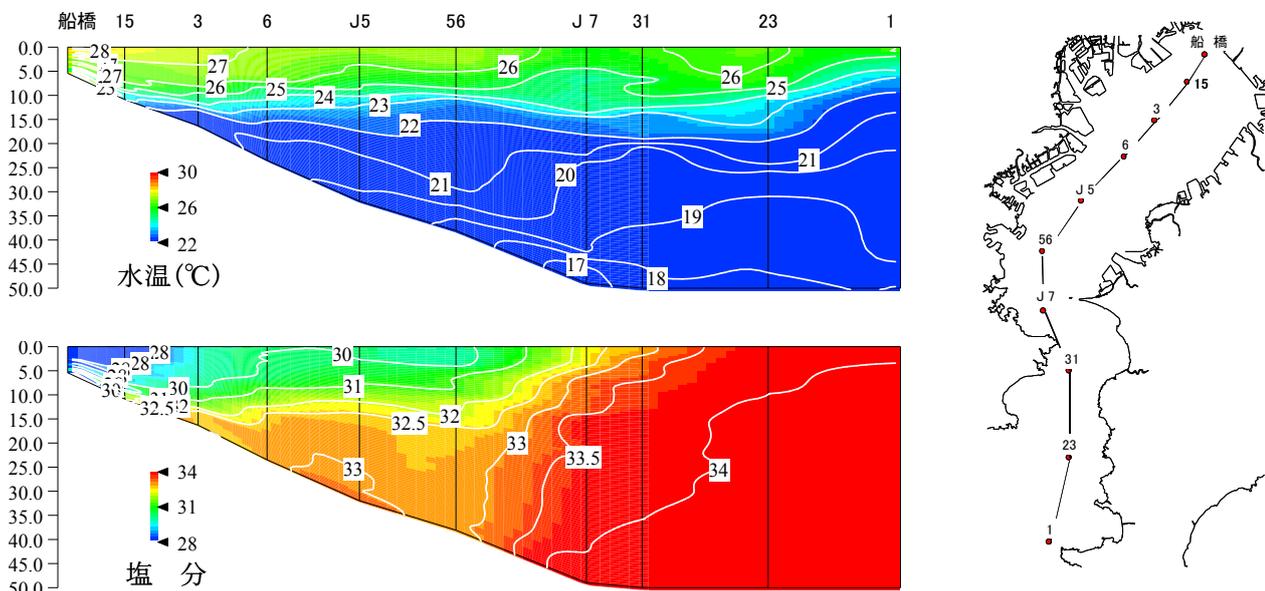


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：内湾、下：内房海域、右：調査ライン)

## 【赤潮の状況】

赤潮は東京灯標から浦安・船橋及び検見川ノ浜にかけての沿岸で発生しpH8.6~8.7、透明度1.5m前後で、水色も茶褐色を呈する程の状態でした。

優占種はケイ藻のタラシオシラ (*Thalassiosira* sp.)、スケルトネマ (*Skeletonema* sp.)で、プレウロシグマ (*Pleurosigma* sp.)も多くみられていました。保田から富浦にかけての周辺海域ではプランクトンは非常に少なく、ケイ藻類がみられる程度でした。

これらはいずれも魚貝類に有害な種類ではありません。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。  
 色 : オリーブ~褐色  
 酸素飽和度 : 150%以上  
 透明度 : 1.5m以下  
 pH : 8.5以上  
 クロロフィルa : 50 $\mu$ g/L以上

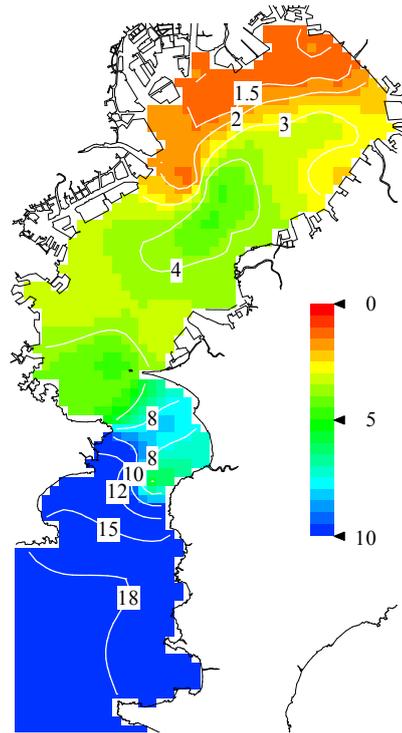


図4 透明度の分布(m)

## 【貧酸素水塊の状況】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は中央から北部海域でさらに低下し、0.25ml/L以下のほぼ無酸素水塊が神奈川県側及び北部海域の広い範囲で分布

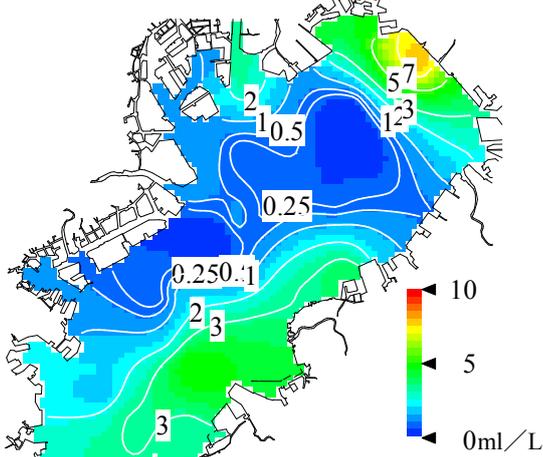


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

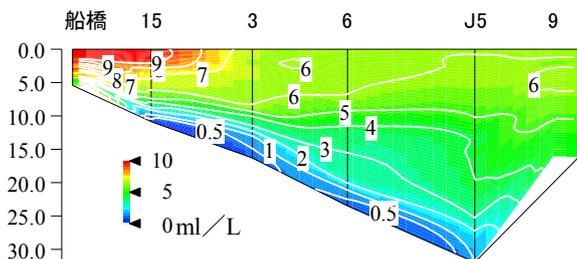


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

## 【栄養塩の状況】

湾内の表層栄養塩(図7)は溶存無機態窒素(DIN)はほぼ全域で平年並みに回復していますが、リン酸態リン(PO<sub>4</sub>-P)は依然平年よりかなり少なくなっています。

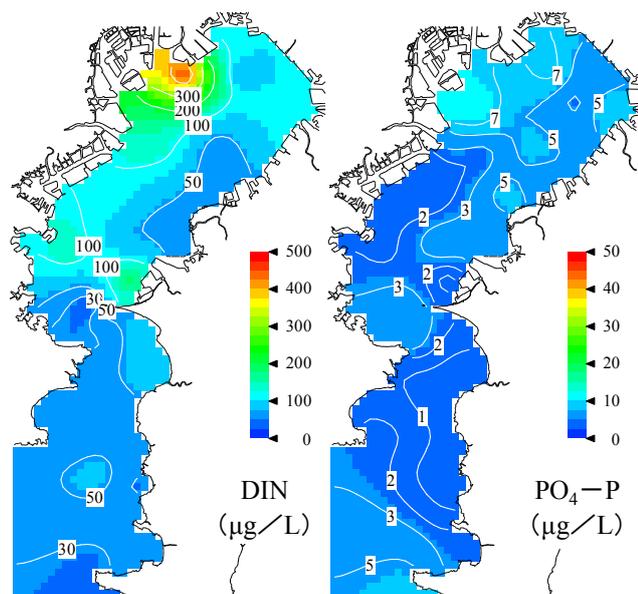


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

## 【黒潮の状況】

黒潮は大きく変動しており、その流軸は5日現在、御蔵島付近で蛇行し、八丈島、青ヶ島を通過後、32°N以南で再び蛇行した後、北東方向に流れています。

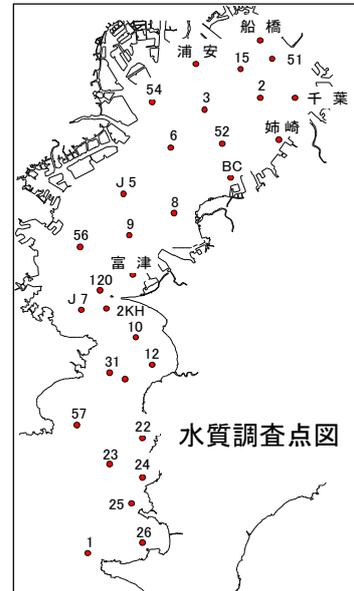
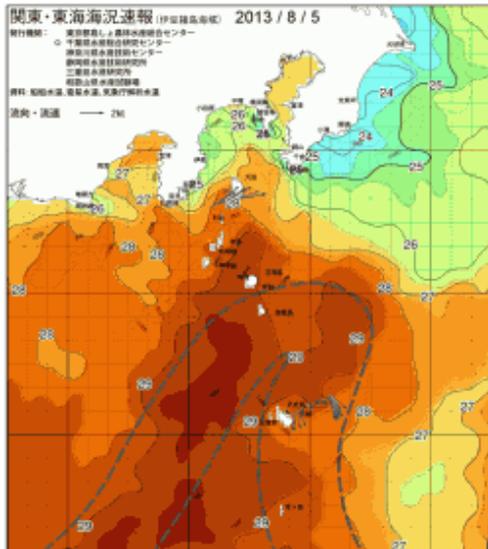


図8 黒潮の動き (平成25年 8月 5日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)  
( ): 最近10年間の平均値 (2003~2012年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (μg/L)	溶存無機態窒素 (μg/L)	リン酸態リン (μg/L)	クロロフィルa (μg/L)
内湾	船橋	28.1 (28.0)	25.39 (24.09)	1.6 (1.3)	8.7 (8.7)	6.4 (4.4)	65 (44)	85 (141)	6 (11)
	st.15	27.8 (27.9)	26.42 (25.37)	1.4 (1.4)	8.7 (8.8)	0.4 (2.5)	56 (35)	71 (103)	7 (6)
	st.3	27.2 (27.3)	29.46 (26.88)	3.5 (1.8)	8.4 (8.7)	0.2 (1.2)	84 (33)	115 (47)	5 (6)
	st.6	27.0 (27.2)	29.97 (27.02)	3.9 (2.0)	8.3 (8.7)	0.3 (0.9)	67 (36)	108 (57)	2 (6)
	st.9	26.4 (26.1)	31.23 (29.45)	3.8 (2.4)	8.2 (8.5)	4.4 (2.4)	19 (25)	63 (61)	4 (6)
	st.BC (盤洲Cブイ)	28.1 (27.4)	28.90 (28.45)	3.8 (2.0)	8.5 (8.6)	3.6 (3.4)	20 (25)	40 (46)	4 (5)
	st.8 (盤洲A南)	27.3 (26.4)	29.56 (29.79)	3.8 (2.4)	8.4 (8.6)	3.2 (2.2)	32 (24)	41 (35)	4 (5)
	富津	26.9 (25.5)	29.66 (30.68)	3.2 (2.8)	8.3 (8.4)	2.7 (2.8)	125 (25)	162 (31)	1 (2)
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	26.2 (25.2)	31.57 (30.94)	4.5 (4.0)	8.3 (8.3)	14 (29)	48 (55)	4 (10)	分 析 中
	st.31	26.1 (25.1)	32.67 (31.73)	12.0 (6.5)	8.3 (8.3)	26 (26)	44 (43)	1 (5)	
	st.23	26.3 (25.5)	33.82 (33.13)	18.0 (13.9)	8.2 (8.2)	9 (25)	57 (29)	1 (2)	
	st.1	26.2 (24.8)	33.92 (33.46)	18.0 (15.4)	8.2 (8.2)	13 (24)	24 (30)	5 (2)	
	st.10 (下洲沖)	26.0 (24.8)	32.35 (31.54)	8.5 (4.2)	8.3 (8.3)	16 (26)	55 (49)	2 (6)	
	st.12 (湊沖)	26.7 (25.4)	31.66 (31.53)	7.5 (4.6)	8.3 (8.3)	27 (24)	64 (34)	1 (3)	
	st.22 (保田沖)	26.1 (25.6)	33.73 (33.18)	16.0 (12.7)	8.2 (8.2)	9 (23)	33 (29)	1 (2)	
	st.24 (富山沖)	25.7 (25.4)	33.85 (33.27)	17.0 (11.3)	8.2 (8.2)	15 (21)	26 (24)	ND (2)	
	st.26 (館山湾内)	26.0 (25.1)	33.75 (33.44)	17.0 (13.9)	8.2 (8.2)	5 (20)	37 (24)	2 (2)	

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。